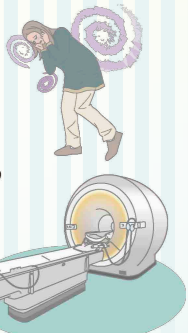


〈PR〉

カラダの 相談室



梅田脳・脊髄・神経・
クリニック(大阪)

町田脳神経外科(東京)

理事長 田辺 英紀さん

第1回



顔面けいれん・ 三叉神経痛

顔の片側がピクピク、又は突然激痛が走る病気があります。眼や耳、皮膚、歯などの疾患ではなく、脳神経の病気なのです。まずは脳神経外科の専門医に相談してください。

原因追及は脳神経専門医 困ったら手術で治る病気

Q 顔の片側がピクピクする、突然激痛が起こる病気があります。

A 顔がピクピクするのは顔面けいれんで、初期の症状は眼瞼(がんけん)のピクピクです。その後、段階的に、ほほ、口の引きつりが始まり、顔全体がけいれんする進行の過程をとることが多くあります。

突然起こる激痛は三叉(さんさ)神経痛で、症状は片側のおでこ、眼の奥、鼻の横、歯茎の痛み、あご、耳に放散する痛みなどです。

洗顔や冷気、歯磨き、食事、化粧、会話などがトリガーになり顔に激痛が走ることが少なくありません。

これらの疾患は症状の出る部位が眼やほほ、耳、口などで患者さんは眼科や皮膚科、耳鼻咽喉科、歯科など受診科に迷われます。

ただ、この疾患は診断が間違っていないければ本当に良くなる病気です。このような症状が続き、他の診療科で改善できなければ、脳神経の障害や脳腫瘍の可能性を疑うことが大切です。まずは脳神経を専門に診る脳神経外科を受診し、MRI検査を受け、原因を明らかにしてください。

この2つの疾患は、脳腫瘍などが原因のこともあります。ほとんどは脳神経の内、三叉神経(感覚と運動神経)、または顔面神経(運動神経)に問題が生じて起こります。この2つの神経は脳幹から直接伸び、頭蓋骨の小さな穴から出ています。ここに加齢で動脈硬化を起こした微細血管が蛇行、延長し、神経に接触・圧迫して痛みやけいれんを起こすのです。

Q 顔面けいれんと三叉神経痛の治療法はありますか。

A 顔面けいれんの薬はあり



たなへ・ひと

1984年、大阪医科大学卒業。

医学博士。北野病院などで脳神経外科手術の研鑽を重ね、城山病院院長や田辺脳神経外科病院院長を歴任。年間600件以上の脳・脊髄手術を行う。

2020年より梅田脳・脊髄・神経クリニックと町田脳神経外科(東京)の理事長を兼任。24年、日本脳神経減圧術学会会長。

☆梅田脳・脊髄・神経クリニック 大阪市北区太融寺町3の24 日本生命第二ビル1階 TEL06・6312・0011

☆町田脳神経外科 東京都町田市根岸町1009の4 TEL042・798・7337

〈企画・制作〉産経新聞社メディア営業局